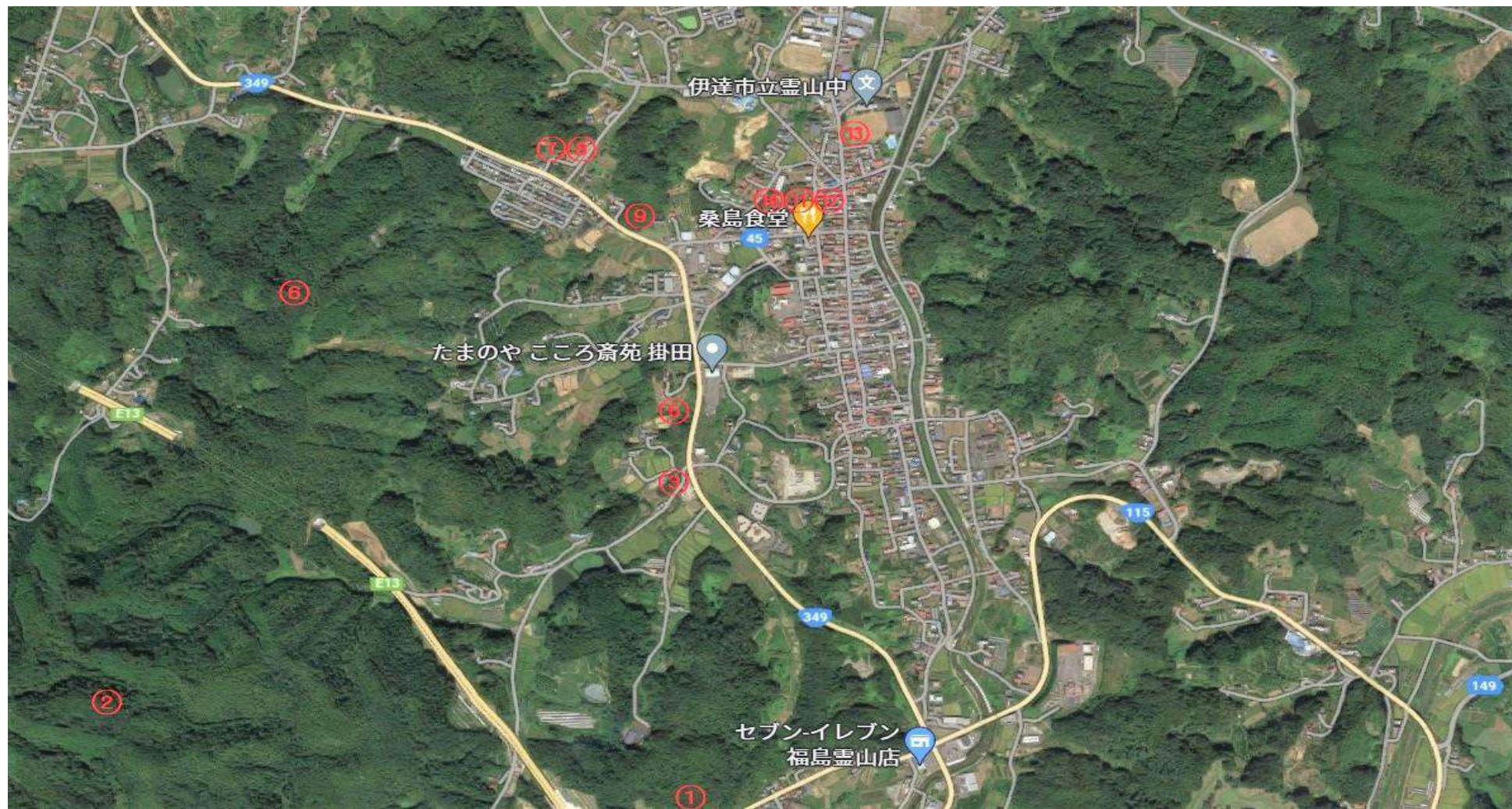


後掛田（谷津・日向前・宮内・朝草口）



引用元：Google社「Google マップ」

① 猫塚山八雲神社



虎猫が御神体

岩壁を刻んで宮を造り岩壁に猫彫り) - 東山頂には金華山の石塔有り

熊野神社社務所より-猫塚山八雲神社の由来 (提供有り)

ご神体 虎猫

猫塚の話

昔から猫に芸を教えるなどと言われていました。昔々1軒のとても律儀な家族が1匹の猫を飼って山の中に住んでいました。

ある日掛田の町に義太夫節(浄瑠璃)がやって来ました。

何も楽しみがない山の中のこと、家族で聞きに行く事になりました。

しかし、家族同様に可愛がっている猫だけ残して行くことは出来ないと「おばあさん」が残ることになりました。

おばあさんが留守番をしていると赤毛の猫が帰ってきて、「おばあさん一人で留守番では寂しいでしょう、私が踊りや義太夫節やら、皆が見てくるものと同じものを見せましょう」とホーキを持ったり、手ぬぐいをかぶったり、汗だくで頑張りました。

おばあさんはあまりにも上手なのにびっくり。皆が帰ってきて、色々話しましたが、おばあさんの話の中身と聞いて来た中味が同じなのです。

主人はこの猫は化け猫だ。化け猫を飼うことは出来ない、と猫を殺し山寺に葬りました。

この山寺のあった一体を猫塚といい、今もこの地名が残っています。

② 大館山 <山頂に狼煙（のろし）台>



東北中央自動車道 相馬福島道路 霊山IC～掛田トンネル手前左側

掛田村で大館、下小国側
愛宕館と呼ぶ。

地元に館伝承あり。

屋根の標高258m北麓の宮
内集落、尾根中央に直径2
mの円形土塁

深さ40cmに主が建設途中で
茶臼山（懸田城）に移っ
た」という凹んだ狼煙場

（町史 1 p194）

③

古跡神社

<通称毘沙門天>



- 御祭神 天御名戸別命（日本武命）
- 鎮座地 伊達市霊山町掛田字岩崎中島3番地
- （1808年）150年前鎮座 祭神 毘沙門天－弁才天と夫妻として祀られる－蚕神 庚申様 天御名 戸別命を祀る
- 氏子21戸掛田字中嶋に鎮座す掛田郷土史2p17
- 養蚕信仰－農村で庚申講がない村はないほど一般化された蚕神の民間信仰である。（町史1 p521 - p522）



古跡神社境内石塔群

通称毘沙門天

④ 羽山神社

山岳信仰



- 御祭神 大山祇命
- 鎮座地 伊達市霊山町掛田字南羽山20番地
- 精霊の集まる山・羽山は奥山に対する端の山の意味、里近い高山（福島県）
- 相殿1 山祇神社 大山祇命を祀る
- 相殿2 月山神社 月読命を祀る

氏子43戸（史24巻民俗2）

- 稲倉魂の命を祀る大正8年8月8日祭日・天宝11年願主

明治36年8月8日懸田勝盛

⑤ 岩崎の清水



- 昭和初期まで糸取りやお茶水、飲用に利用されていた。
- 国道349号（掛田バイパス岩崎信号から保原方面へ50m左側）今も湧き出ている清水。

⑥

雷神社 (雨乞い・三本松)



- 御祭神 別雷神
- 鎮座地 伊達市霊山町掛田字
三本松19番地
- 建物なし 朝草口

「西の空雲 湧いて 雨ザー
ザー降ってこおー」

農家の人の結ぶ力は大きい、その日のうち、或いは2・3日すると必ず雨が降ったという。

⑦

蚕養国神社 <別称 蚕養国大明神>



- 御祭神 稚産霊命（わくむすびのみこと）
- 鎮座地 伊達市霊山町掛田字谷津

会津若松市蚕養町の延喜式内社 蚕養国（こがいくに）神社からの勧請と伝えられている。
掛田字谷津に鎮座する稚産霊神命を祀る

次の様な棟札（第1号）が現存する。

「奉造立蚕養国大明神一字

文政6年3月16日（1823年）

導師権大僧都 文殊院遊仙

お蚕様が無事に生まれ、つつがなく成長するように
お祀りした。

⑧

蚕養国神社の庚申塔



蚕養国神社の境内には、100余りの小さな庚申碑が建てられている。

古くは天保14年（1843年）と刻印されたがあり、その後数を増し「三百庚申」明治35年（1902年）と刻まれた石塔もあります。

2022年の地震により多数倒壊しました。

谷津部落では、永く「庚申講」の祭を継続してきました。

農村で庚申講がない村はない程一般化された民間信仰でした。

まお、養蚕信仰で東北地方の庚申塔は17世紀末以前に遡るものはないと言われています。

蚕神様は虫供養、蚕供養といわれ信者の絶えることはありませんでした。

掛田の蚕・掛田くり糸として名をはせた蚕の魂が祀られています。

養蚕の神「蚕があたりますように」「おしゃり（病気）がでませんように」と養蚕農家は信仰の対象としていました。

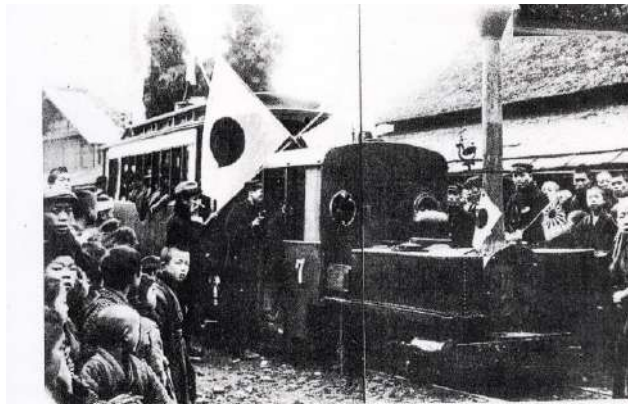
⑨ 石塔山の神



- 霊山町掛田字五城内<県道349号線北側の山>
日向前通称じゃり山に建立してある。
- 石塔 山の神 奉造立山野神供養
享保4年 1719年10月17日建立

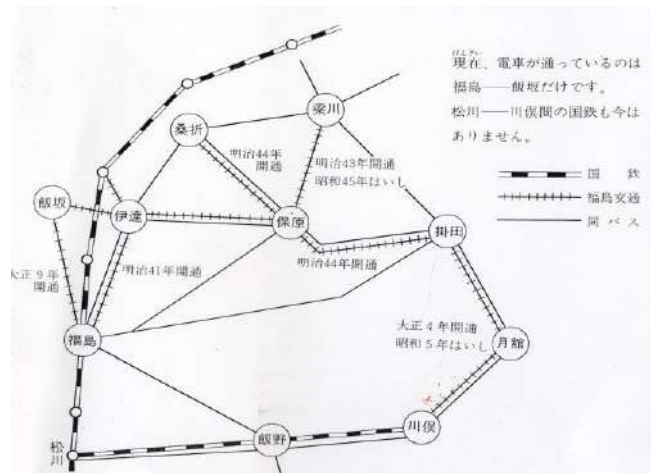
他に南無阿弥陀仏石碑等があり。

⑩ 軽便鉄道

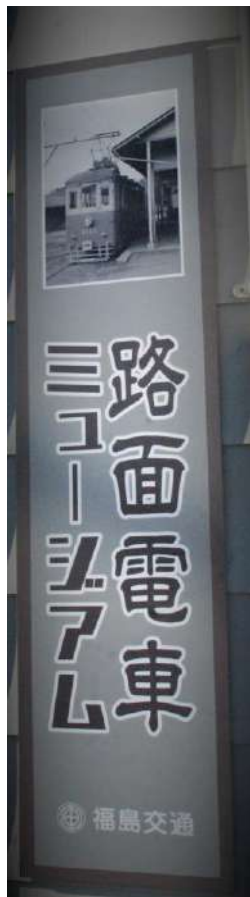


1911年明治44軽便鉄道開通
 電車に改め大正15年12月より
 開通す年4月8日
 開通(福島～掛田～川俣)
 1927年川俣線廃止 郷土史1
 p30

- 昭和15年 電車化工事完成掛田まで 昭和46年4月廃止



⑪ 路面電車ミュージアム



2023年1月末「掛田驛」バスターミナルが改装され、新たに「路面電車ミュージアム」が出来ました。福島交通OBが協力して当時の写真や道具が展示されています。



①2

記念碑

福島交通掛田驛



軌道開通記念碑

掛田驛構内に掛田町が建立している。鉄道の開通により学生はもとより多くの乗客で賑わった。路面電車ミュージアムと併せて当時を偲んで頂けます。

⑬

掛田町の碑 (霊山中学校校庭)



- 昭和30年1月31日合併前一掛田町は永久に消える一掛田町を残したい一碑を建立
霊山史談創刊号p19
- 掛田町一建武2年～応永6年まで 懸田近江守定隆・定勝の領永正9年～伊達輝宗・政宗の領天正18年蒲生氏郷・その子秀行の領、慶長3年上杉景勝、鋭勝の領。寛文4年徳川領代官管轄延宝7年本田平八郎政武の領、天和2年再び徳川領となる。貞享3年堀田正仲、正虎領す。元禄13年徳川領寛保元年松平定賢、定邦、定信、定永これを領す。文政6年阿部鉄丸、正篤、正瞭、正備、正老、正静の領明治元年 戊辰戦争以って召し上げられ相馬因幡守取締地となり、明治2年8月18日福島県管轄となる。霊山史談創刊号p21
- 掛田町の沿革
- 明治元年12月7日陸奥国を分ちて5国とせしとき磐城国に属し明治2年12月8日改めて明治22年3月25日町制施行の結果山野川村を合わせて掛田村とし岩代国に属す明治31年1月19日掛田町と改む 郷土史1 p 5